

最先端シングルセル解析技術と そのアプリケーション

日時:平成27年3月11日(水)14:30-16:45

場所:熊本大学国際先端医学研究拠点施設 3階
ミーティングルーム (304)

第1部:14:30~15:30

演題名:Mass Cytometry技術を用いた広範囲なプロテイン解析(CyTOF2)

- Flow Cytometry vs Mass Cytometry
- CyTOF2を用いたMass Cytometry
- CyTOF2のアプリケーション(論文紹介)
- 質疑応答

第2部:15:35~16:45

演題名:シングルセルゲノミクスの現状と今後の展開

- シングルセル遺伝子発現解析の背景
(Biomark HD システムを用いたシングルセルqPCR解析を中心に)
- C1システムを用いたシングルセルトランスクリプトーム解析
- C1システムを用いたシングルセルゲノム解析
- 質疑応答

近年、癌研究、幹細胞研究、免疫学などの分野においてシングルセル解析が盛んに行われるようになってきております。これまでのシングルセル解析は、シングルセルqPCRやフローサイトメトリーなど少数の特定遺伝子をターゲットにした解析にとどまっておりましたが、最近ではマイクロフルーデックス技術を用いたハイスループットqPCR (Biomarkシステム)、全トランスクリプトーム解析やエクソーム解析 (C1システム)、Mass Cytometry技術を用いた広範囲なプロテイン解析 (CyTOF2システム) など、より包括的かつ統合的な解析に移行しつつあります。このような状況の中、弊社、フリューダィムはシングルセルゲノミクスおよびシングルセルプロテイン解析の分野で最先端の技術を提供し、中心的な役割を果たして参りました。本セミナーではシングルセルゲノミクスとシングルセルプロテイン解析の2部構成で、最先端技術および各種アプリケーションにおける実施例のご紹介、さらには新製品を用いた今後の展開についてもお話をさせていただきます。



C1



Biomark



CyTOF 2



FLUIDIGM

フリューダィム株式会社 TEL 03-3662-2150

連絡先: 営業部 西日本担当 吉田 e-mail: Yoshiyuki.Yoshida@fluidigm.com